

今月号は、県立阿賀野高等学校の活性化について取り上げます。また、基本的なことですが、県議会の役割や組織についても紹介します。

## みんなで考え、応援しよう。

### 地元の高校！

新潟県議会議員 帆苅謙治



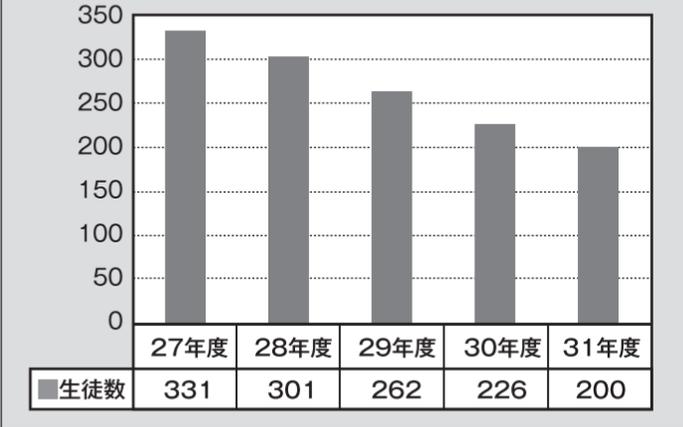
県立阿賀野高等学校全景

えられますが、地元の中学生や保護者から見て魅力のある学校になっているのか、みんなで真剣に考えなければなりません。

県議選では、「阿賀野高校を存続させる。」ことを公約し、県当局に具体策を要望し、本年4月から一部が実現する見通しであることや、地元企業で働く意欲のある若者のニーズに对应えられる、地域に根ざした特色のある学科の設置などを訴えてまいりました。

本年4月、県議選において、市民の皆さまから、阿賀野高校の将来に不安を感じていることや、その対策についてのご意見やご質問が多数寄せられました。  
本年度は、4月入学の生徒が62名で募集定員(120名)割れとなり、全校生徒数は200名となっています。  
この要因として、全国的な傾向でもある少子化の影響も考

阿賀野高校 生徒数の推移



### 「阿賀野高等学校を活性化する意見交換会」開催！

県議選後、県・市当局との連携を図りながら、具体策を進めてまいりました。

この度、県と市が主催して、県教育長ほか関係職員・学校関係者、市長、教育長、議長、総務文常任委員会委員長、阿賀野経営者同友会等の皆さんが出席し、「阿賀野高等学校を活性化する意見交換会」を6月13日、市役所で開催いたしました。



高校、各団体からの現状報告後、県教育委員会から、令和2年度からの阿賀野高校のあり方についての説明がされ、この

あり方は、まだ最終決定されていないことを前提として意見交換を行いました。



### 令和2年度から、「地域と連携した特色のあるコース」を設置？

県の説明によれば、地元や近隣市町の中学生が地域のために頑張りたいという意欲に答える…

#### ◆地域探求コース(仮称)

このコースは、地域との協働・地域からの支援を受け、「地域デザイン(仮称)」と「未来デザイン(仮称)」を設置し、地域社会の担い手として活躍できるように、専門的な知識、技術等を学ぶことを目標としています。

大学や専門学校等への進学を目指す中学生に答える…

◆教養コース(仮称)は、生徒の進路実現を可能とする教育課程の編成を目標としています。

最後に、県及び市が県の提示したたたき台を具体化させるための対策を進めていくことなどを確認しました。

県の説明からは、地域に密着した未来志向の学校の骨格が見えてまいりましたが、地元企業と高校が連携して中学生の意欲に答える学校に変えていくことに大きな期待を寄せています。

中学生は、進路にさまざまな選択肢があり、進路について悩んだり、迷ったりしているお子さんも多いと思います。

将来やりたい職業を考えて学校を選択できるように、いまの阿賀野高校のあり方を変えていくことも必要ではないでしょうか。

将来は、地域経済をリードする起業家として活躍する人材が輩出されることも夢ではありません。

地元企業にとっては、優秀な人材を安定的に確保できる効果も期待され、また、若者が地元に着することによって、人口減少の歯止めにもなります。

### 地域全体で阿賀野高校を応援しよう！

以前は、水原高校と安田高校の2校が存在していましたが、平成19年3月に閉校した歴史を有しています。

安田高校の新設時は、市民が協力し合って、生徒募集に1軒1軒訪問したことが思い出されます。いま、阿賀野高校は厳しい状況下に置かれていますが、市にとって唯一の公立高校です。

私は、県政便り6月号で人口減少問題を最優先して取り組むことを申し上げましたが、この施策として、地元若者の働く場を確保し、防災・減災によって安心安全を守り、子育て、医療、介護、福祉、教育等の環境を整備しなければならぬと考えています。

仮に、阿賀野高校がなくなればあらゆる分野に計り知れない影響が及ぶことを認識しなければなりません。

阿賀野高校は、県が主体的に運営していますが、地元の市民一人ひとりの熱意を県当局や学校に伝えていくことも大切なことかと思っています。

いま、地元企業は、少子化の影響を受けて人材不足の問題を抱えているなど、人材確保の観点からも、地域と連携した特色のある学校を展望し、活性化を図るため、何としても地域の皆さんの応援が必要と考えています。

地域からの支援事例！

地域での支援事例として、阿賀野経営者同友会では「キャリア教育支援事業」として、進路指導講演会、意識啓発講演会、企業訪問、インターンシップ（職場体験）などの取り組みをしています。地元企業と学校との連携が県内のモデルケースとして注目されています。



地元企業でのインターンシップ事例

阿賀野高校の卒業生が夢と希望を抱きながら、地元企業に就職し、先輩に支えられ、地域や企業で活躍されていることを知り、胸が熱くなる思いをしています。

令和という新たな時代にふさわしい新生阿賀野高校として、令和2年度からスタートできるよう、県、市、学校、地域の連携が十分に図られるよう、私も先頭に立って汗を流してまいります。ぜひとも、市民の皆さんからのご支援、ご意見等をいただければ幸いです。

全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性！

「県議会」について

皆さんの中には、県議会ってどんなことをするのか、よく分からない方も多くいらっしゃると思います。ここでは、県議会の役割、組織について簡単に説明します。

県議会の役割

① 県民の代表による話し合いの場

私たちの住む新潟県を豊かな住みよい地域社会にするためには、みんなで話し合い、それを実行していかなければなりません。

しかし、県民のみなさんが全員集まって話し合うことは不可能です。そこで、選挙に

よって代表者（県議会議員）を選び、その県議会議員が集まって、県の予算や仕事の方針を審議し、その方向を決定する場が県議会です。

② 議決機関と執行機関

県議会は「議決機関」として、議案などの審議を通して県民の求める県政の基本的な方針を決めます。そして、知事をはじめとする「執行機関」は、議会の決定に沿って仕事を進めることとなります。

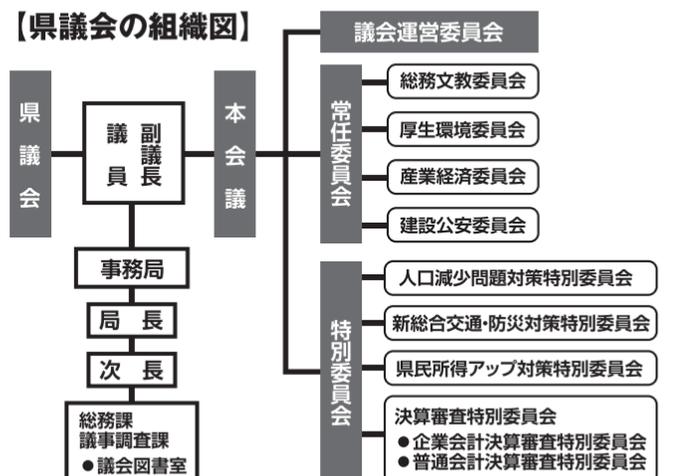
また、県議会は、「執行機関」が行った仕事が本当に県民のために有益であったかどうかについてのチェックもしています。

県議会の組織

県議会には、常任委員会と特別委員会があります。私は、産業経済委員会と県民所得アップ対策特別委員会に所属しています。

なお、本年2月の連合委員会（4常任委員会が一堂に会

【県議会の組織図】



して開催される委員会）において「県内調達の推進」に関して質問に立ちました。このとき、県内調達を推進するための子エック体制の確立を花角知事に対して強く求めました。私の要請に対して花角知事は、県庁内の部局を横断する推進会議を早速6月6日に設置し初会合を開催したとのこと。私の質問は、県内調達の実効性確保に向けた大きな成果であると思います。

阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。
特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。
ほかりけんじ事務所
〒959-2221 阿賀野市保田 737-2
TEL:68-5441 FAX:68-5515
http://www.hokaken.jp/